

弟子の掟⑤

シリーズ～弟子道～

2011/7/24

弟子の掟①～④

- ① 律法学者やファリサイ派に「まさる」義
 - 律法に縛られるのではなく、「豊か」に実行する
 - 律法を廃棄するのではなく、完成する
- ② 人と良い関係を築くことは全てに優先する
 - 供え物を献げる前に仲直りする
- ③ 弱い立場の人(女性)を大切にする
 - 夫婦関係を清く保ち、簡単に離縁しない
- ④ 神様に対して誠実である
 - できもしない誓いを立てない

マタイ福音書5章38～42節

「あなたがたも聞いているとおり、『目には目を、
歯には歯を』と命じられている。しかし、わたし
は言っておく。悪人に手向かってはならない。
だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬
をも向けなさい。あなたを訴えて下着を取ろう
とする者には、上着をも取らせなさい。だれか
が、一ミリオン行くように強いるなら、一緒に
二ミリオン行きなさい。求める者には与えな
さい。あなたから借りようとする者に、背を向け
てはならない。」

「目には目を，歯には歯を」

- 律法の教え

- 「もし、その他の損傷があるならば、命には命、目には目、歯には歯、手には手、足には足、やけどにはやけど、生傷には生傷、打ち傷には打ち傷をもって償わねばならない。」＜出エジプト21:23＞

- 「やられたらやり返せ」という意味ではない！

- 復讐^{復讐}の連鎖を断ち切るための制限法

- 人間は片目をつぶされたら，両目をつぶしたくなるし，歯を折られたら，鼻を折りたくなる

イエス様の教えは

- 右の頬を殴られたら
 - 相手の両頬を殴り返す
 - 右の頬だけを殴り返す
 - 黙って我慢する
 - 左の頬も向ける(殴らせる)
- 不当な訴えには
 - 何も取られないように戦う
 - 下着を取られても我慢する
 - 上着も取らせる

イエス様の教えは

- (ローマ兵からの)理不尽な要求には
 - 断固拒絶する
 - 仕方なく言われたとおりにする
 - 要求の2倍働く
- 求める者には
 - 特に理由がないなら拒む
 - 特に理由が無くても与える
- 借りようとする者には
 - 返してくれそうにないなら拒む
 - 返してくれそうになくても貸す

心配なこと...

- その通りにしたら
 - こっぴどく殴られた
 - 他の家財道具まで奪われた
 - 3ミリオン行かされた
 - どんどん要求がエスカレートした
 - 何も返ってこなかった
- 結局自分だけが損をした
- 悪人がどんどん増えていった
- 本当それで良いのだろうか？

これこそイエス様の弟子の証明！

- なぜこの教えを受け入れられないのか
 - 私たちが支配されている『公平の法則』
 - 自分だけ損をすることへの嫌悪感
- 不公平であつたり, 不当である部分は主の恵みが埋めて下さる
 - 自分で公平の帳尻を合わせない
- イエス様の教えは「非暴力」ではなく, 「被害歓迎主義」
 - 「“目には目を”は全世界を盲目にしているのだ」
＜ガンジー＞

弟子の掟

- 悪を持って悪に対抗しない
 - むしろ愛と犠牲を持って悪に対抗する
 - 復讐は神にまかせる
 - 「愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる」と書いてあります。」＜ローマ12:19＞
- 必ず自分が損をする
 - イエス様は誰よりも損をされた
 - 「へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。」